

FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform
Container Platform powered by Red Hat OpenShift サービス仕様書

2022年12月15日

1. サービス仕様

当社は、Red Hat 社が提供する Red Hat OpenShift Container Platform（以下「OpenShift」という）を利用した以下のサービス（以下「本サービス」という）を提供します。

- 契約者が作成したアプリケーションが動作するコンテナ（以下「契約者アプリケーション」という）を開発・運用するための OpenShift 環境（以下「コンテナ基盤環境」という）の提供
- コンテナ基盤環境のマネジメントノードおよびアプリケーションノードの生存監視、メンテナンス（エラッタ適用およびマイナーアップデート、重大なトラブル発生時のシステム復旧）の実施

本サービスでは、以下の構成を提供します。各種オプションの制限事項・注意事項については、別記1を参照ください。

(1) 基本構成

契約者は、下表のプランのうちいずれか一つのプランを選択する必要があります。基本構成のマネジメントノード（コントロールプレーン/インフラ）はそれぞれ3台冗長構成で提供します。

基本構成は「(4) 接続オプション」のいずれかのオプションの契約が必要となります。

プラン	構成			
	マネジメントノード		アプリケーションノード	
	コントロールプレーン 台数	インフラ 台数	フレーバー タイプ	台数
2vCPU/8GB メモリ	3	3	S3-2	2
4vCPU/16GB メモリ			S3-4	2
16vCPU/64GB メモリ			S3-16	2

下表のプランは2022年6月16日で新規受付を停止しました。

プラン	構成			
	マネジメントノード		アプリケーションノード	
	コントロールプレーン 台数	インフラ 台数	フレーバー タイプ	台数
プラン A	3	3	S3-2	5
プラン B			S3-4	5
プラン C			S3-2	10
プラン D			S3-4	10

各ノードに設定される仮想 CPU、メモリ、ディスクは以下のとおりです。

ノード	仮想 CPU (個)	メモリ (GB)	ディスク (GB)
マネジメントノード (コントロールプレーン)	4	16	120
マネジメントノード (インフラ)	4	32	120
アプリケーションノード S3-2	2	8	120
アプリケーションノード S3-4	4	16	120
アプリケーションノード S3-16	16	64	300

(2) アプリケーションノード追加オプション

契約者はコンテナ基盤環境に対しアプリケーションノードを追加することができます。

アプリケーションノード追加単位
アプリケーションノード 2vCPU/8GB メモリ 1 台
アプリケーションノード 4vCPU/16GB メモリ 1 台
アプリケーションノード 16vCPU/64GB メモリ 1 台

下表のプランは2022年6月16日で新規受付を停止しました。

アプリケーションノード追加単位
アプリケーションノード small 1 台
アプリケーションノード small 5 台
アプリケーションノード small 10 台
アプリケーションノード middle 1 台
アプリケーションノード middle 5 台
アプリケーションノード middle 10 台

(3) ストレージ追加オプション

契約者は、コンテナ基盤環境に対し 1TB の永続ストレージを追加することができます。この永続ストレージとは、コンテナで使用するデータを永続的に格納する領域です。永続ストレージにデータを格納する設定を行うことにより、コンテナの移動・削除時にもコンテナで使用するデータを保持できます。

ストレージ追加オプション容量
1TB

(4) 接続オプション

契約者は、下記接続オプションを少なくとも一つ選択する必要があります。接続オプションはコンテナ基盤環境と選択したネットワークとの接続を提供します。

- ・プライベート接続オプション
- ・リージョン内接続オプション
- ・インターネット接続オプション

これらの接続オプション同士の併用可否を以下の表に記載します。

	プライベート接続 オプション	リージョン内接続 オプション	インターネット接続 オプション
プライベート接続オプション		×	○
リージョン内接続オプション	×		○
インターネット接続オプション	○	○	

○：併用可能

×：併用不可

a. プライベート接続オプション

契約者はプライベート接続オプションを選択することで、コンテナ基盤環境に対し FUJITSU Hybrid IT Service Digital enhanced EXchange(以下「DEX」という)環境と接続することができます。プライベート接続オプションのみの契約時、外部公開設定した契約者アプリケーションはインターネットを経由せずに接続された環境に公開されます。なお、プライベート接続オプションの契約には DEX の契約が別途必要です。

b. リージョン内接続オプション

契約者はリージョン内接続オプションを選択することで、コンテナ基盤環境と契約者が構築した FJcloud-O のプロジェクト（以下「契約者プロジェクト」という）と接続することができます。リージョン内接続オプションのみの契約時、外部公開設定した契約者アプリケーションは、契約者プロジェクトを通して公開されます。

プラン	機能説明
単一サーバ接続	単一のリレーサーバ経由で契約者プロジェクトから本サービスを利用できるプランです。リレーサーバのメンテナンス時は、契約者プロジェクトより本サービスをご利用できなくなります。

c. インターネット接続オプション

契約者はインターネット接続オプションを選択することで、インターネットを経由して本サービスを利用することができます。インターネット接続オプションの契約時は外部公開設定した契約者アプリケーションはインターネットに公開されます。また、プライベート接続オプションまたはリージョン内接続オプションとの併用時においても同様に、外部公開設定した契約者アプリケーションはインターネットに公開されます。

2. 制限事項・注意事項

【契約について】

- (1) 本サービスは、プライベート接続オプション、リージョン内接続オプション、またはインターネット接続オプションの少なくとも一つ以上の契約を必須とし、基本構成と同時に契約する必要があります。なお、プライベート接続オプション、およびリージョン内接続オプションを併用することはできません。
- (2) プライベート接続オプション、リージョン内接続オプション、またはインターネット接続オプションを解約する場合は、基本構成、および全てのオプションを解約する必要があります。
- (3) 本サービスの利用時、「Red Hat 製品の使用に関するエンドユーザライセンス特約条項」に定める条件を遵守するものとします。

【運用について】

- (1) 当社は、契約者アプリケーション、契約者アプリケーションが作成したデータおよびクラスタ構成情報のバックアップを取得しません。これらの管理については契約者が単独で責任を負うものとします。
- (2) 全ての契約者アプリケーション、Pod、OpenShift Operator の運用は契約者が実施する必要があります。それらのセキュリティの担保、監査対応、および生存監視を含む運用は契約者が実施してください。
- (3) OpenShift のエラッタ適用、マイナーアップデート時に契約者アプリケーションおよび OpenShift の互換性問題が発生した場合、契約者が解決する必要があります。また当社は OpenShift のダウングレードは実施しません。
- (4) 最新の OpenShift より 2 マイナーバージョン古い場合、当社は契約者に通知なく当社の定める日に最新のマイナーバージョンにアップデートします。
- (5) 当社が OpenShift に致命的なセキュリティ脆弱性があると判断した場合、当社は契約者に通知の上、当社の定める日に修正適用を実施します。
- (6) 契約者の作業によって、OpenShift に異常が生じた場合、ヘルプデスクへ問い合わせの上、契約者が復旧する必要があります。当社によるシステム復旧をご希望の場合、当社が契約者に環境を提供した時点までの復旧（環境の再払い出し）となります。契約者アプリケーションを含めた復旧は契約者が実施する必要があります。

3. 提供リージョン

本サービスは、以下のリージョンで提供されます。

- ・東日本リージョン 3
- ・西日本リージョン 3

以 上

別記1 基本構成、各種オプションに関する制限事項・注意事項

本サービスにおける基本構成、各種オプションの制限事項・注意事項を記載します。

(1) 基本構成プランに関する制限事項・注意事項

- a. 契約後のプラン変更はできません。プランを変更する場合、契約しているプランを解約し、新たなプランを契約する必要があります。
- b. 本サービスは、`ocp.jp.fujitsu.com` 配下のドメイン名で提供されます。
- c. 外部公開設定する契約者アプリケーションは、独自のドメイン名を使用することができます。その場合に必要となる該当ドメインの名前解決設定、およびサーバ証明書の購入、サービス内への導入は契約者が実施する必要があります。
- d. 本サービスへの認証は OAuth 認証を使用し、Web API へのアクセストークンはインプリシットグラント方式によりブラウザ経由で配布されます。アクセストークンの取り扱いには十分注意してください。
- e. 契約者アプリケーションからインターネット上のサービスに接続可能なプロトコル/ポートは以下となります。
 - tcp / 53, 123, 443
 - udp / 53, 123

上記以外の tcp, udp のポート番号でインターネット上のサービスに接続したい場合は、ヘルプデスクに変更したい旨をご連絡ください。

(2) アプリケーションノード追加オプションに関する制限事項・注意事項

- a. 契約中のアプリケーションノード追加オプションを変更する場合、契約しているオプションを解約し、新たなオプションを契約する必要があります。
- b. アプリケーションノード追加オプションを解約した場合、残ったアプリケーションノードに稼働中の契約者アプリケーションが集約されます。それらの契約者アプリケーションが利用する CPU およびメモリが集約後の環境に十分確保されていることを確認の上で解約してください。

(3) ストレージ追加オプションに関する制限事項・注意事項

- a. 1つの基本構成に対して、ストレージ追加オプションを契約できるのは1回のみです。契約の上限数は各基本構成につき2契約(2TB)までです。
- b. ストレージ追加オプションを解約した場合、追加されたストレージ内のデータは破棄されます。必要となるデータは契約者自身で解約前に退避してください。

(4) プライベート接続オプションに関する制限事項・注意事項

- a. インターネット接続オプションを契約していない場合、OpenShift 環境は外部公開されないため、自己署名証明書で提供されます。認証局により信頼された証明書が必要な場合、必要な作業を契約者が実施する必要があります。
- b. プライベート接続オプションの契約時、接続の可否を判断する必要がありますので、事前にヘルプデスクに連絡してください。接続可能である場合、書面により DEX を申し込んだ上で、プライベート接続オプションを契約する必要があります。
- c. DEX が提供する機能のうち、「クロスコネク ト for FJcloud-O」および「クロスコネク トポ ー ト for 富士通データセンター」が利用可能です。
- d. DEX が提供する機能のトラブルは、契約者が解決する必要があります。
- e. インターネット接続オプション併用時、認証局事業者が発行したサーバ証明書が登録されます。また外部公開設定された契約者アプリケーションは、インターネットに公開されます。
- f. 1つの基本構成に対して、1つのプライベート接続オプションのみ契約できます。

(5) リージョン内接続オプションに関する制限事項・注意事項

- a. インターネット接続オプションを契約していない場合、OpenShift 環境は外部公開されないため、自己署名証明書で提供されます。認証局により信頼された証明書が必要な場合、必要な作業を契約者が実施する必要があります。
- b. リージョン内接続オプションの契約時、接続の可否を判断する必要がありますので、事前にヘルプデスクに連絡してください。
- c. リージョン内接続オプション契約時、契約者が用意する FJcloud-O の IaaS リソースは、契約者が管理する必要があります。

- d. インターネット接続オプション併用時、認証局事業者が発行したサーバ証明書が登録されます。また、外部公開設定された契約者アプリケーションは、インターネットに公開されます。
 - e. 1つの基本構成に対して、1つのリージョン内接続オプションのみ契約できます。
- (6) インターネット接続オプションに関する制限事項・注意事項
- a. 契約者が外部公開設定可能なプロトコル/ポートは、**tcp/443**のみとなります。
 - b. 1つの基本構成に対して、1つのインターネット接続オプションのみ契約できます。

附則（2021年10月1日）

本サービス仕様書は、2021年10月1日から適用されます。

附則（2021年12月16日）

本サービス仕様書は、2021年12月16日から適用されます。

附則（2022年2月1日）

本サービス仕様書は、2022年2月1日から適用されます。

附則（2022年6月16日）

本サービス仕様書は、2022年6月16日から適用されます。

附則（2022年12月15日）

本サービス仕様書は、2022年12月15日から適用されます。